

図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

Tel 0285-68-4380

URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホームページは
こちら



ツイッターでも
情報配信中!

市貝町立図書館

『いっとくん』

@ittokun_ichikai



twitterで「市貝図書館カルトクイズ」実施中!

2月のイベント

イベントの開催については、感染症対策を講じながら安全にできるように配慮しております。
※状況により変更・中止あり

★バレンタインプレゼント

日時：2月12日（土）～2月13日（日）

※なくなり次第終了

内容：期間中に資料を借りた方に、バレンタインプレゼントをさし上げます。なくなり次第終了ですのでお早めどうぞ。



★季節の工作イベントの参加者を募集します

日時：2月20日（日）14:00～（1時間半程度）

内容：ひなまつりの工作を楽しみます。

対象：小学生まで

（未就学児～小3は保護者同伴）

定員：5組

申込：カウンターまたはお電話

申込期間：1月25日（火）～※定員になり次第終了



★ダンボの会のおはなし会

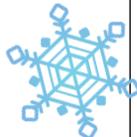
日時：2月27日（日）10:30～（50分程度）

内容：ボランティア「ダンボの会」による小さい子向けのおはなし会です。絵本の読み聞かせ・パネルシアター・手あそびなど、ご家族でお楽しみいただけます。

対象：乳幼児～小学校低学年向け

定員：10名程度

※状況により人数制限する場合あり



お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

★歴史民俗資料館のイベント

第46回企画展「いちかいの埋蔵文化財」

期間：2月5日（土）～3月21日（月）

※休館日は図書館に同じ

内容：資料館で所蔵する遺物を展示します。



お問い合わせ：中央公民館 ☎68-0020

★開館時間 9:30～19:00★

感染症対策のためサービスの制限をしています。ホームページやtwitterでも情報を更新しています。引き続き感染症対策にご協力ください。

★第9回いちかい図書館まつりにご協力ありがとうございました★

1月22日（土）「いちかい図書館まつり」を開催しました。例年より規模を縮小し、集客イベントは少人数の事前申込制にするなど、感染症対策に気を配りながらではありましたが、たくさんの方にご来場いただきました。ご協力いただきました関係各所の皆さまには心よりお礼申し上げます。

また、利用者様・出店者様から頂きました募金額は1,988円でした。ありがとうございました。募金は全てコミックス購入に充てさせていただきますと思います。

イベントの様子は裏面をご覧ください。次回開催もお楽しみに!



★利用者アンケートにご協力ありがとうございました★

1月中、館内において図書館アンケートを実施しました。貴重なご意見、ありがとうございました。自由記入欄へいただいたご意見には、担当スタッフからの回答を館内に掲示・ブログに掲載する予定です。

図書館カレンダー

2月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31※		

■…休館日

※月末資料整理日



★第9回いちかい図書館まつりにご来場いただきありがとうございました★
イベントの様子をご紹介します☆



おたのしみ宝くじ



古本リサイクル市



復刻缶バッチガチャ第4弾



しょうちゃんと遊びま専科「牛乳パックでエコクラフト」



キッチンカー出店



第166回芥川賞・直木賞

1月19日、第166回芥川賞・直木賞の受賞作が決定しました。図書館では候補作を含め、特集コーナーを設置していますのでぜひご利用ください。

芥川賞

『ブラックボックス』

砂川 文次 // 著 (群像8月号)

※未出版のため発売され次第購入予定

直木賞

貸出中の場合は
予約してください

『塞王の楯』

今村 翔吾 // 著 (集英社)

『黒牢城』

米澤 穂信 // 著 (KADOKAWA)

チョコレートの本

「銃とチョコレート」

乙ー // 著

(講談社)



大富豪から金品を盗む怪盗ゴディバ、国民的ヒーローの名探偵ロイズ、とある事から怪盗の秘密を手に入れた少年リンツが捜査に加わり財宝をめぐる冒険が始まります。文字が大きくひらがなが多いので一見児童向けかと思えますが、内容はかなり辛口で大人が読んでも十分楽しめる小説です。

次第に明らかになっていくゴディバとロイズの正体。大人のダークな世界に巻き込まれていくリンツ少年の運命はいかに。スリリングな展開、どんでん返し繰り返しで一気に物語に引き込まれていきます。

また、アンティークなスタイルの装丁と挿し絵が物語を盛り上げています。なにより登場人物や町の名前が全てチョコレートのブランド名がつけられているので、チョコレート好きにはたまらない一冊です。

スタッフのおすすめ

しょうちゃんのひとりごと



最近のメディア報道は、横文字が多いと感じませんか。コロナ関係だけでも、クラスター（集団感染）オーバーシュート（感染爆発）エアロゾル感染（空気感染）マンパワー（人手）やファクター（要員）など、ますます横文字が加速しています。テレビ番組を見ていたら、解説者の人たちがエビデンスという言葉をしきりに使っていたのですが、なぜ日本語で「証拠」と言わないのか不思議でたまりませんでした。ほかにもファクトを「事実」と言えば分かりやすいのに、わざわざ分かりづらく言うのです。まだまだ沢山あります。ソーシャルディスタンス、パンデミック、レジェンド、アジェンダ、レガシー、ワイス・スペンディング、イノベーションなど。その度に意味を調べているありさま。そしてすぐに忘れてしまうから始末が悪いのです。「英語を使う人はカッコいい」「英語を使うんだから世界の最新情報に通じた革新的な利口な人だ」と、考える我々庶民が悪いのだろうか。インフラ（生活基盤）ゴールデンウィーク（黄金週間）ユーザー（利用者）などは生活に馴染んでいるのでわかるのですが。単純に恰好いいからとか、相手が分からなければ優位に立てるなどの意味合いで、わざわざ横文字を使わないで欲しいと思います。是非、情報を伝える皆様も、誰もが理解できる美しい日本語を大切に適切に使って欲しいと願っています。

お問い合わせ 市員図書館 ☎68-4380